

# 2014 年度 日系企業進出調査の結果概要(ミシガン州)

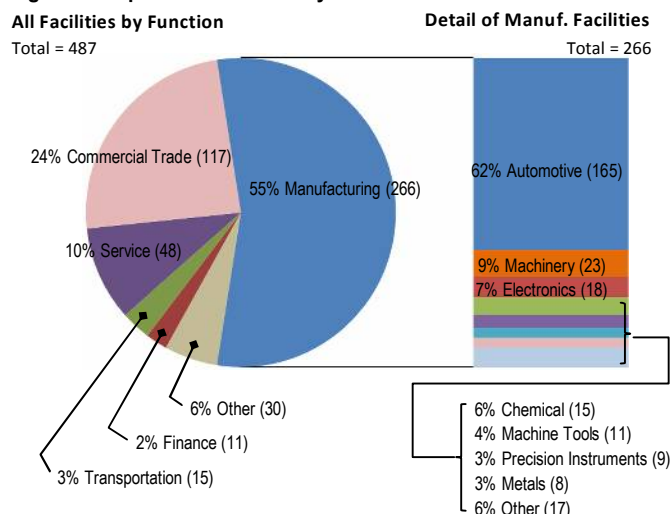
(2014 年 10 月 1 日時点)

在デトロイト日本国総領事館では、毎年、管内における日系企業の進出状況等について調査を実施しています。2014 年 10 月 1 日時点のミシガン州についての調査結果<sup>(注)</sup>は、以下のとおりです。

## 1. 事業所数

2014 年の日系企業の事業所数は 487 カ所で、日本は主要な海外投資国です。事業所の 55%(266 カ所)は製造業関連であり、うち 62%(165 カ所)は自動車関係となっています。商取引関係は製造業に次いで多く、24%(117 カ所)となっています。

Figure 1: Japanese Facilities by Sector



## 2. 従業員数

日系企業の総従業員数は 38,339 名であり、うち 95%が現地採用職員と非常に高い現地雇用水準となっています。

Figure 2: Long-term Japanese Investment Trends

Year	Facilities	Total Employees	Employee Breakdown		Manufacturing Employees
			Local	Japanese	
2014	487	38,339	36,456	1,883	14,994
2013	481	37,787	35,954	1,833	15,847
2009	519	32,531	30,695	1,836	13,533
2004	504	36,172	33,976	2,196	16,137
Percent Change					
1 Year	1.2%	1.5%	1.4%	2.7%	-5.4%
5 Year	-6.2%	17.9%	18.8%	2.6%	10.8%
10 Year	-3.4%	6.0%	7.3%	-14.3%	-7.1%

(注) 本件調査では、調査対象を日本企業の出資割合が 10%以上の事業所に限定しているため、フランチャイズ店舗のデータは含まれておりません。また、今次調査を通じ前回調査時以前から立地している事業所が新たに判明した場合には、前年以前のデータにそれを反映させています。このため、昨年までに公表しているデータとは一部異なっている場合があります。

## 3. 事業所の地域分布

州内事業所の 81%(395 カ所)は、ノバイ市やファームントンヒルズ市など南東ミシガンに集中しており、研究開発やセールスを中心に 21,444 名を雇用しています。92 事業所がバトルクリーク市など他地域にあり、16,895 名を雇用しています。直接製造活動に従事している割合は南東部の 17%と比べて、その他地域では 67%と高くなっています。

Figure 3: Japanese Investment by Region (Top Counties)

Region	Facilities	Total	Manufacturing
		Employees	Employees
<b>Southeast</b>	<b>395</b>	<b>21,444</b>	<b>3660</b>
• Oakland County	235	11,210	1,110
• Wayne County	102	4,547	489
• Washtenaw County	27	3,284	417
• Macomb County	15	589	343
• Livingston County	12	1,290	986
<b>Southwest</b>	<b>50</b>	<b>12,491</b>	<b>8,231</b>
<b>Central</b>	<b>33</b>	<b>3,624</b>	<b>2,503</b>
<b>Northern</b>	<b>9</b>	<b>780</b>	<b>600</b>

## 4. 在留邦人数

2015 年 1 月時点の州内の在留邦人数は 12,828 名で、近年増加傾向にあり、大部分が南東ミシガンに居住しています。

Figure 4: Japanese Population (Top 5 Cities)

